

しいと思います。実際に、バンコク日本人商工会議所の会員数は1,371社（2012年）で、その数は年々増加しています。これからも日本はタイと深く関わっていく事は間違いありません。

私は今までに2度タイに行ったことがあります。バンコクに行った時、本当にここは日本かと勘違いしてしまうくらい日本の物を見つけることが出来ました。街に出ると、日本語の看板や日本食レストラン、アニメを簡単に見つけることができます。コンビニに行くと、日本企業の商品、日本語で書かれたパッケージの物が普通においてあります。こんなにも日本の企業が進出していることに本当にびっくりします。バンコクは高層ビルがいくつも建っており、かなり近代的な都市です。道脇には屋台がいくつも並び、日本でいう縁日のようにいつも活気あふれています。物価もとても安いので、1食100円くらいで食べる事が出来ます。タイ料理もとても美味しいです。トムヤムクンを始めとする、タイ料理独特の味付けは一度ハマったらやめられません。ほとんどの人が仏教を信仰しているので、その信仰深さに驚きます。バンコクにあるお寺はとても大きく豪勢で一度見る価値があります。

タイは、食べ物、人、文化すべてがキュートで、何か惹きつけられる不思議な魅力があります。人々は優しく、活気溢れ、まさに「微笑みの国タイ」です。他にも、タイには面白い文化やあっと驚くような事がいっぱいあります。こ



こで話してもキリがありません。一度タイに行く事をオススメします。もちろん、タイ語を勉強して話す事が出来たらかなりタイの魅力にハマるでしょう。

Я люблю тебя.
(ヤー リュブリュー チェビヤー)

文学部2年 山本あおい

Здравствуйте! (こんにちわ!) みなさんロシア語って言ったらどんなイメージを持っていますか? 顔文字みたい、文字がローマ字と違う文字だから難しそう、あるいはあまり身近でないためよくわからない、どんな言語が想像できないという人もいるかもしれません。しかしロシア語とは意外にもわたしたちの生活に密着しているものなのです。例えばいくら。あれはもともとロシア語の *икра* (イクラア) が元であり、その意味は「魚の卵」という意味なのです。つまりわたしたちが日頃スーパーやお寿司屋さんで見かけるいくら、つまり鮭の卵はロシア語の「魚の卵」からきているということなのです。いろんな人と話していて気付いたのですが、みなさん意外とハラショーという言葉を知っていて驚きました。ハラショーとは *Хорошо* と書き、素晴らしい、いいね、などと言った意味があります (英語でいう Good. に近い)。しかしなぜこのハラショーが日本に広まっているのでしょうか、不思議です。また、文字に関してですが、確かにローマ字とはいくつか違う点もありますし、量も比べてみると多いです (ローマ字: 26文字、キリル文字: 33文字)。しかしこのなかのいくつかはローマ字と全く同じ形のものもあります。量の多さはなんともなりません、アラビア文字のように全てなじみのない形の文字でないのもまだとっつきやすいかもしれません。わたしが考えるロシア語の一番の魅力は発

音のかわいさです。文字もかわいいのですが、発音がなにより可愛くて話すのが楽しくなってしまう。文字表記なので伝わりにくいとは思いますが、例えば、I love you. これをロシア語で言うと、Я люблю тебя. (ヤー リュブリュー チェビヤー) となります。どうですか、なんだかちょっぴり可愛くはありませんか？

このように、ロシア語とはイメージとは違ってロシア語には面白いところや魅力がたくさんあります。皆様も機会があればロシア語に触れてみませんか？



中国語の魅力

現代中国学部 3 年 大槻和也

近年中国経済が発展するにつれ、中国語学習者が増えつつあります。私もそのうちの一人です。しかし私が中国語を学び始めた理由は特に中国経済を見据えたわけではなく、ただ日本語と似ている中国語に魅力を感じたからです。私は昔から日本と似ているようで、やはりどこか違う歴史や文化を持つ中国や韓国などの東アジアの国々に興味がありました。日本は歴史的に中国や韓国から大きな影響を受けており、中国や韓国のことを学ぶと、同時に日本についても学べることがあります。

それは言語においても言えることです。日本語は中国語や韓国語の影響を受けています。特に中国語の影響は大きいです。中でも最も大き

な影響は漢字でしょう。日本語において漢字は必要不可欠な存在です。例えば「なごやえきでしょくじ」と平仮名だけで表記した場合と、「名古屋駅で食事」と漢字と平仮名を混用して表記した文章とでは、読みやすさが違います。また中国語と日本語との間では語彙が同じのものが多くあり、日本語母語話者にとって中国語はやはり学びやすい言語なのではないかと思います。私は現在留学中ですが、カナダやタイからの留学生が漢字を覚えるのに苦労している一方で、日本人留学生は漢字を覚えるのに特に苦労はしていません。やはり同じ漢字という文字を使い、日本語に似ているという点が中国語の一番の魅力だと思います。

また中国語には他の魅力があるのかと聞かれたら、私は中国語には英語や日本語のような動詞や形容詞、副詞などの活用がないことを挙げます。英語の授業のとき、動詞や形容詞などの活用のルールに慣れることのきつと多くの人が苦しんだと思います。中国語にはそのような複雑なものはありません。しかし、その代りに、中国語では語順が命となります。私は中国語はパズルのようなものだと思っています。辞書から必要な語彙を取り出し、それらを正しく組み合わせていくことで文として成り立っています。特に変化を与える必要はありません。本当に正しく組み合わせさえすればいいのです。私はこのような中国語の特徴をととても面白く、魅力的に感じます。

以上、1つ目は日本語との関係から見た魅力、2つ目は中国語そのものの魅力を挙げました。他にも中国語の魅力はたくさんありますが、ここでは私が思う2つの魅力を挙げました。この文章を読み中国語に興味を持っていただけたら幸いです。